第4講 隣接2項間型の漸化式(2)

イントロ 次の数列のはじめの 5 項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 1$$
, $a_{n+1} = 3a_n + 2^n$

解説

$$a_1 = 1$$
, $a_2 = 3a_1 + 2^1 = 5$, $a_3 = 3a_2 + 2^2 = 19$, $a_4 = 3a_3 + 2^3 = 65$, $a_5 = 3a_4 + 2^4 = 211$

まず、階差数列は、 $a_2-a_1=4$ 、 $a_3-a_2=14$ 、 $a_4-a_3=46$ 、 $a_5-a_4=146$ となるが、これだけでは規則性が予測できない。ここでは Point 5 や Point 6 と同じように、新たに設定した数列 $\{b_n\}$ の漸化式を $b_{n+1}=3b_n$ とすることを考える。つまり、

$$a_{n+1} = f(n)a_n + 0$$
 (ただし $f(n)$ が定数の場合)

の形になるように、漸化式の 2^n の項を a_n と a_{n+1} に振り分けるわけである。

さて、 2^n は n の指数の式なので、Point 6 と異なり、指数の式 $\alpha \cdot 2^n$ を用いて振り分ける。一般的には、次の Point 7 のようになる。

Point 7

 $a_1 = a$, $a_{n+1} = pa_n + q^n$ $(p \neq 1, p \neq q)$ で定められた数列

式変形の目標を $a_{n+1} - \alpha q^{n+1} = p(a_n - \alpha q^n)$ とし、 $b_n = a_n - \alpha q^n$ とおくと、 $b_{n+1} = pb_n$ となり、数列 $\{b_n\}$ は初項 $b_1 = a_1 - \alpha q$ 、公比pの等比数列である。

なお、目標の式を展開し、もとの漸化式と係数を比較すると、

$$-p\alpha q^n + \alpha q^{n+1} = q^n, \quad \alpha q^{n+1} = p\alpha q^n + q^n$$

となり、この式より α を求める。

《注》漸化式 $a_{n+1} = pa_n + q^n \cdots$ ①を公比 p の等比数列の漸化式と関連づけるには,指数の項 q^n を新たに設定した数列の漸化式では 0 にする必要がある。その方法として、Point 6 と同じく、①を満たす特殊な数列を利用してみる。

指数の式の処理ということから、これを等比数列 $a_n = \alpha q^n$ とする。

①に代入すると,

$$\alpha q^{n+1} = p\alpha q^n + q^n \cdots 2$$

①, ②の両辺の差をとると, 目標の式

$$a_{n+1} - \alpha q^{n+1} = p(a_n - \alpha q^n)$$

が得られる。

例題7 次の数列の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 1$$
, $a_{n+1} = 3a_n + 2^n$

解 $a_{n+1} = 3a_n + 2^n \cdots 1$ を満たす 1 つの数列を $a_n = \alpha \cdot 2^n$ とおく。

①に代入して、
$$\alpha \cdot 2^{n+1} = 3\alpha \cdot 2^n + 2^n$$
 より、 $2\alpha = 3\alpha + 1$

すると, $\alpha = -1$ となり,

$$-2^{n+1} = -3 \cdot 2^n + 2^n \cdot \cdots \cdot 2$$

$$(1-2)$$
\$ b , $a_{n+1}+2^{n+1}=3(a_n+2^n)$

 $b_n = a_n + 2^n$ とおくと $b_{n+1} = 3b_n$ となり、数列 $\{b_n\}$ は公比 3 の等比数列なので、

$$b_n = b_1 \cdot 3^{n-1} = (a_1 + 2^1) 3^{n-1} = 3 \cdot 3^{n-1} = 3^n$$

したがって、
$$a_n = b_n - 2^n = 3^n - 2^n$$

《注》等差型の基本タイプ

$$a_{n+1} = 1 \times a_n + f(n)$$

を目標とした式変形が誘導として与えられることがあるが、計算は複雑である。

① o_{a_n} の係数 3 を新たに設定した数列の漸化式では 1 にすることを考え、例題 5

の《注》と同様にして、両辺を 3^{n+1} で割ると、

$$\frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = \frac{3a_n}{3^{n+1}} + \frac{2^n}{3^{n+1}} \quad \text{すなわち} \quad \frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = \frac{a_n}{3^n} + \frac{1}{3} \left(\frac{2}{3}\right)^n$$

$$n \ge 2 \ \ \overline{C}, \ \ b_n = b_1 + \frac{1}{3} \sum_{k=1}^{n-1} \left(\frac{2}{3}\right)^k = \frac{a_1}{3^1} + \frac{\frac{2}{9} \left\{1 - \left(\frac{2}{3}\right)^{n-1}\right\}}{1 - \frac{2}{3}} = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left\{1 - \left(\frac{2}{3}\right)^{n-1}\right\} = 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n$$

この式はn=1のときも成立する。

よって,
$$a_n = 3^n b_n = 3^n \left\{ 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n \right\} = 3^n - 2^n$$

また、両辺を 2^{n+1} で割るという誘導もあるが、計算はさらに複雑になる。

$$\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{3a_n}{2^{n+1}} + \frac{2^n}{2^{n+1}} \quad \text{ftb} \quad \frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{3}{2} \cdot \frac{a_n}{2^n} + \frac{1}{2}$$

 $b_n = \frac{a_n}{2^n}$ とおくと, $b_{n+1} = \frac{3}{2}b_n + \frac{1}{2}$ となり,漸化式は Point 5 のタイプになる。

練習7 次の数列の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

(1)
$$a_1 = 2$$
, $a_{n+1} = 2a_n - 3 \cdot 5^n$

(2)
$$a_1 = 3$$
, $a_{n+1} = -2a_n + 2^{n+1}$

イントロ 次の数列のはじめの 5 項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 3$$
, $a_{n+1} = 3a_n + 3^{n+1}$

解説

$$a_1 = 3$$
, $a_2 = 3a_1 + 3^2 = 18$, $a_3 = 3a_2 + 3^3 = 81$, $a_4 = 3a_3 + 3^4 = 324$, $a_5 = 3a_4 + 3^5 = 1215$

まず、階差数列をとっても規則性は予測できないので、Point 7と同様に考え、漸化式の 3^{n+1} の項を a_n と a_{n+1} に振り分けることを考える。つまり、式変形の目標を $a_{n+1}-\alpha\cdot 3^{n+1}=3(a_n-\alpha\cdot 3^n)$ と設定する。

ところが、この目標の式を展開すると、

$$a_{n+1} = 3a_n - 3\alpha \cdot 3^n + \alpha \cdot 3^{n+1} = 3a_n - \alpha \cdot 3^{n+1} + \alpha \cdot 3^{n+1} = 3a_n$$

となってしまい、定数αは存在しない。言い換えると、等比型の基本タイプ

$$a_{n+1} = f(n)a_n + 0$$
 (ただし $f(n)$ が定数の場合)

には変形できないというわけである。

そこで、式変形の目標を、もう1つのタイプである等差型の基本タイプ

$$a_{n+1} = 1 \times a_n + f(n)$$

に変えてみる。例題 5 や例題 7 の《注》で記したように、 a_n の係数 3 に注目し、 漸化式の両辺を 3^{n+1} で割ると、

$$\frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = \frac{3a_n}{3^{n+1}} + \frac{3^{n+1}}{3^{n+1}} \quad \text{ すなわち} \quad \frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = \frac{a_n}{3^n} + 1$$

 $b_n = \frac{a_n}{3^n}$ とおくと、 $b_{n+1} = b_n + 1$ となり、数列 $\{b_n\}$ は公差 1 の等差数列である。

一般化すると,次のPoint 8のようになる。

Point 8

 $a_1=a$, $a_{n+1}=pa_n+p^n$ $(p \neq 1)$ で定められた数列

両辺÷
$$p^{n+1}$$
より、 $\frac{a_{n+1}}{p^{n+1}} = \frac{a_n}{p^n} + \frac{1}{p}$

$$b_n = \frac{a_n}{p^n}$$
 とおくと、 $b_{n+1} = b_n + \frac{1}{p}$ となり、数列 $\{b_n\}$ は初項 $b_1 = \frac{a_1}{p}$ 、公差 $\frac{1}{p}$ の

等差数列である。

《注》漸化式 $a_{n+1} = pa_n + p^n$ を満たす特殊な数列を $a_n = \alpha p^n$ としたとき、

$$\alpha p^{n+1} = p \alpha p^n + p^n$$
, $\alpha p^{n+1} = \alpha p^{n+1} + p^n$

となってしまう。この漸化式を満たす数列 $a_n = \alpha p^n$ は存在しないことが一般的にわかる。

例題8 次の数列の一般項を求めよ。 $(n=1, 2, 3, \dots)$

$$a_1 = 3$$
, $a_{n+1} = 3a_n + 3^{n+1}$

解

 $a_{n+1} = 3a_n + 3^{n+1}$ の両辺を 3^{n+1} で割ると,

 $b_n = \frac{a_n}{3^n}$ とおくと、 $b_{n+1} = b_n + 1$ となり、数列 $\{b_n\}$ は公差 1 の等差数列である。

$$b_n = b_1 + (n-1) \cdot 1 = \frac{a_1}{3^1} + n - 1 = 1 + n - 1 = n$$

よって、 $a_n = b_n \cdot 3^n = n \cdot 3^n$

《注》イントロで a_2 から a_5 まで計算をしたが、その過程をもう一度振り返ってみる。

$$a_1 = 1 \cdot 3$$

$$a_2 = 3a_1 + 3^2 = 3 \cdot 1 \cdot 3 + 3^2 = 1 \cdot 3^2 + 3^2 = 2 \cdot 3^2$$

$$a_3 = 3a_2 + 3^3 = 3 \cdot 2 \cdot 3^2 + 3^3 = 2 \cdot 3^3 + 3^3 = 3 \cdot 3^3$$

$$a_4 = 3a_3 + 3^4 = 3 \cdot 3 \cdot 3^3 + 3^4 = 3 \cdot 3^4 + 3^4 = 4 \cdot 3^4$$

$$a_5 = 3a_4 + 3^5 = 3 \cdot 4 \cdot 3^4 + 3^5 = 4 \cdot 3^5 + 3^5 = 5 \cdot 3^5$$

これより、一般項が $a_n = n \cdot 3^n$ であると推測できる。この点からも、推測の難しかった例題 7 の数列とは、基本的に違いがあることがわかる。

つまり、漸化式 $a_{n+1} = pa_n + q^n$ で定義される数列は、 $p \neq q$ の場合とp = qの場合ではその性質が異なり、それが漸化式の解法にも反映しているということになる。

練習8 次の数列の一般項を求めよ。(n=1, 2, 3, ……)

(1)
$$a_1 = 1$$
, $a_{n+1} = -2a_n + 3 \cdot (-2)^n$

(2)
$$a_1 = 2$$
, $a_{n+1} = 3a_n - 2 \cdot 3^n$

 $a_1 = 1$, $2(n+1)a_{n+1} = na_n + (-1)^{n+1} (n=1, 2, 3, \dots)$ によって定義される 数列 $\{a_n\}$ がある。

- (1) $b_n = na_n$ とおくとき、 b_n をnの式で表せ。 (2) a_n をnの式で表せ。

数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = -4$, $a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 13 \cdot 2^{n+1}$ $(n = 1, 2, 3, \dots)$ により

- 定められている。 (1) $b_n = \frac{a_n}{2^n}$ とおくとき、 b_n と b_{n+1} の満たす関係式を導け。
- (2) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

Back Next

第4講 隣接2項間型の漸化式(2)

練習 7

(1)
$$a_{n+1} = 2a_n - 3 \cdot 5^n \, \& \, 0$$
, $a_{n+1} + 5^{n+1} = 2(a_n + 5^n)$
 $a_n + 5^n = (a_1 + 5^1) \cdot 2^{n-1} = 7 \cdot 2^{n-1}$
 $\& \supset \mathcal{T}$, $a_n = 7 \cdot 2^{n-1} - 5^n$

練習8

(2)
$$a_{n+1} = 3a_n - 2 \cdot 3^n \, \, \&\, \mathcal{O}\,, \quad \frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = \frac{a_n}{3^n} - \frac{2}{3}$$

$$\frac{a_n}{3^n} = \frac{a_1}{3^1} - \frac{2}{3}(n-1) = -\frac{2}{3}n + \frac{4}{3}$$

$$\&\, \supset\, \mathcal{T}\,, \quad a_n = \left(-\frac{2}{3}n + \frac{4}{3}\right) \cdot 3^n = -2(n-2) \cdot 3^{n-1}$$

問題 7

(1)
$$2(n+1)a_{n+1} = na_n + (-1)^{n+1}$$
 に対して、 $b_n = na_n$ より、
$$2b_{n+1} = b_n + (-1)^{n+1}, \ b_{n+1} = \frac{1}{2}b_n + \frac{1}{2}(-1)^{n+1}$$
すると、 $b_{n+1} - \frac{1}{3}(-1)^{n+1} = \frac{1}{2}\left\{b_n - \frac{1}{3}(-1)^n\right\}$ から、
$$b_n - \frac{1}{3}(-1)^n = \left\{b_1 - \frac{1}{3}(-1)^1\right\} \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \left(1 \cdot a_1 + \frac{1}{3}\right) \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} = \frac{4}{3}\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$
よって、 $b_n = \frac{4}{3}\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} + \frac{1}{3}(-1)^n = \frac{1}{3}\left(\frac{1}{2}\right)^{n-3} + \frac{1}{3}(-1)^n$

(2) (1)
$$\sharp 0$$
, $a_n = \frac{b_n}{n} = \frac{1}{3n} \left\{ \left(\frac{1}{2} \right)^{n-3} + (-1)^n \right\}$

問題8

(1)
$$a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 13 \cdot 2^{n+1}$$
 の両辺を 2^{n+1} で割って,
$$\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{a_n}{2^n} + 4n - 13$$

$$b_n = \frac{a_n}{2^n}$$
 より, $b_{n+1} = b_n + 4n - 13$

(2) (1)
$$\sharp b$$
, $n \ge 2$ \mathfrak{T} , $b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k-13) = \frac{a_1}{2^1} + 4 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - 13(n-1)$
$$= 2n^2 - 15n + 11$$

この式は、
$$n=1$$
でも成立する。
よって、 $a_n=2^nb_n=(2n^2-15n+11)\cdot 2^n$